

Ver. 2026

新潟脊椎外科センター 研修プログラム

センター長 長谷川 和宏

1. はじめに

脊椎脊髄外科における適切な診断および治療を行うためには、骨関節外科の範疇に留まらず広い分野を網羅した学習が必要です。

新潟脊椎外科センターにおける研修の目標は、

- ・ 的確な診断ができること
- ・ 正しく安全な治療が遂行できること
- ・ 自らの発想で臨床研究を実施してゆくことができることであります。

本目標に近づくための研修プログラムを作成いたしました。この内容はあくまでも目的地に到達するまでの地図でしかありません。険しい道のりを、自らが汗をかいて歩まなければ目的地に至ることはできません。皆様の健闘を期待します。

2. 研修目標

- ・ 患者との接し方、診察法、画像診断を身につけ、一般的疾患の理解を深めながら、基本的診断法を身につけること
- ・ 習得すべき基本項目
 - 外科的一般知識と基本手技
 - 整形外科における基本的知識と手技
 - 神経診断学
 - 脊椎外科のための解剖学
 - 脊椎外科に関するバイオメカニクス
 - 脊椎脊髄疾患のリハビリテーション
- ・ 以上を習得しつつ次の項目を実践し身につけてゆく
- ・ 手術適応となる全ての脊椎・脊髄疾患に対して、最も効果的なアプローチを行い、神経除圧もしくは病変切除、脊柱再建手術
- ・ 疾患別の術後療法
- ・ 術後経過観察方法、および評価法
- ・ 実施した治療例をまとめて報告し、更に有効な治療法を検討

3. 講義

適宜下記項目について各々1 時間程度の講義およびディスカッションを行う

【ベーシック・総論】

- 1) 神経診断
- 2) 脊椎・脊髄の解剖およびバイオメカニクス
- 3) 脊椎・脊髄の画像診断
- 4) 脊椎・脊髄手術器具の概要と使い方

【各論】

- 1) 腰痛、腰椎椎間板ヘルニア
- 2) 腰部脊柱管狭窄症、すべり症、変性側弯症
- 3) 頸椎症性脊髄症、頸椎椎間板ヘルニア、頸椎 OPLL
- 4) 脊柱変形
- 5) 脊椎骨粗鬆症
- 6) 脊椎外傷
- 7) 脊椎腫瘍
- 8) 脊髄腫瘍

4. 研究検討会

当センターで行っている臨床・基礎研究について、毎月 1 回の研究検討会を開催する。

- 1) Slot-scanning 3D X-ray imager (EOS)、重心動揺計、体組成計を用いた研究
 - ・ 脊柱アライメント
 - ・ 立位バランス
 - ・ 全身骨格筋量、筋電図による解析
- 2) 電気診断研究
 - ・ 術中脊髄モニタリング
- 3) リハビリテーション
- 4) 他 随時新しい分野の研究を含める